

# 第6学年 国語科学習指導案

児童 男子4名 女子13名 計17名  
授業者 馬場直幸

1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう(光村図書6年下「希望」p.32～p.46)

2 教材名 「平和のとりでを築く」(説明文) 大牟田稔  
自分の考えを発信しよう  
—インターネットと学習—

## 3 単元について

### (1) 教材について

第5学年及び第6学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」である。また、「書くこと」の目標は、「目的や意図に応じ、考えたことなどを筋道を立てて文章に書くことができるようにするとともに、効果的に表現しようとする態度を育てる。」である。本単元で育てたい主となる能力は、「読むこと」の内容「イ 目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。」「エ 書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかくこと。」「ウ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の組み立ての効果を考えること。」「エ 事象と感想、意見などと区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。」である。

本単元は、「読むこと」と「書くこと」の学習が連続して設定されている複合単元である。まずは、説明文「平和のとりでを築く」を読んで内容や筆者の考えを読み取り、それについての自分の考えをもつ。それを受けて「自分の考えを発信しよう」では平和に関する自分の考えを書き表し、発信していくことで、表現力を育てていくことをねらいとしている。

第1教材である「平和のとりでを築く」は、ジャーナリストの大牟田稔氏が書いた論説型の文章である。昭和45年8月6日、広島県広島市に投下された原子爆弾によって無惨な姿となった物産陳列館、通称「原爆ドーム」。この文章には、その原爆ドームが世界遺産に登録されるまでに辿ってきた経緯とともに平和を願う人々の思いが綴られている。また、それらの事実や人々の気持ちを通して、平和な世界を守り続けていくことの大切さを読者に訴えかけている文章となっている。

文章は、「原爆ドームに対する思い(形式段落①)」「原爆ドームが歩んだ歴史(形式段落②～⑧)」「世界遺産登録までの道のり(形式段落⑨～⑪)」「筆者の主張(形式段落⑫⑬)」という構成になっている。これは「はじめ」(話題提示)「なか1」「なか2」(事実)「むすび」(筆者の主張)ととらえることができる。これまで学習してきた説明文の基本的な文章構成の形をとっている。原爆ドームを通して語られる筆者の平和についての主張が読者に実感的に伝わってくるのは、具体的な年数を挙げながら事実を時系列で書いていること、固有名詞を多用して書いていること、「一だ。」「一である。」という力強い文末表現を用いながら筆者の主張を表現していることなどの表現上の特色が挙げられるからである。

これらの表現に着目しながら読み進めていくことによって子どもたちは、原爆ドームが平和の象徴として多くの人に認められてきたことと平和な世界を構築することの大切さを確かに読み取っていくことができるであろう。

また、第1教材で読み取った筆者の考えを活用しながら、第2教材「自分の考えを発信しよう」で平和についての自分の考えを組み立て、文章に書き表す。そして、第3教材「インターネットと学習」では、出来上がった文章を発信するための一つの手段として挙げられるインターネットの利用の仕方について、そのルールや気を付けることを学ぶという構成になっている。文章の内容を理解し、それに対する自分の考えをまとめるということは、「書かれたテキストを理解し、利用し、熟考する能力」と規定しているPISA型読解力を育成する上でも大変重要な力であるといえる。また、根拠を明らかにしながら自分の考えを展開していくことは、国語科だけでなく、他教科においても必要な力である。

よって、子どもたちに身に付けさせたい力や今日的な課題という点から考えても、本単元は適材であるといえる。

## (2) 児童について

児童は5年生の学習で、文章構成を把握した上で、段落の内容をとりえらる。学習の目的は、説明文の書き方を学ぶことである。児童は、学習の過程で、自分の考えを表現する力や自分の読みと根拠を明らかにし、他者の考えのよさを認め、自分の考えを改善する。また、4月に行われた全国学力・学習状況調査の結果から、児童の読解力や文章の構成力などが、前向きに取り組む子が多いため、児童の読解力や文章の構成力を高めることが必要である。児童は、学習の過程で、自分の考えを表現する力や自分の読みと根拠を明らかにし、他者の考えのよさを認め、自分の考えを改善する。また、4月に行われた全国学力・学習状況調査の結果から、児童の読解力や文章の構成力などが、前向きに取り組む子が多いため、児童の読解力や文章の構成力を高めることが必要である。

## (3) 指導にあたって

本単元では、原爆ドームが世界遺産に登録されるまでの経緯や筆者の平和を願う気持ちを、読み取り、それに基づいて学習を進めていく。1点目は、事実と感想、意見の違いを意識させながら読み進めることができるようにする。事実については、年数を挙げながら時系列で書かれておきた文章の特徴を生かし、一つ一つの事実とその背景にある事柄を確実に読み取る。それと平行させながら、原爆ドームを見守ってきた人々の心情に触れさせ、人々の思いや願いと自分の内面とを関わりながら読み進めていくようにする。2点目は、自分の考えを論理的にまとめる力を育てることである。平成20年版「小学校学習指導要領解説国語編」第3章第3節第5学年及び第6学年の「C読むこと」(2)内容ウの解説文に次のような記述がある。「自分の考えを明確にする場合には、自分の知識や経験、考えなどと関係付けて読み、自分の立場から書かれている意見についての考えを、どのようにして読むことも大切となる。以上のことから、筆者の考えに対する自分の考えを書く際には、①自分の考えの「根拠」となる筆者の主張、②筆者の主張に基づいた自分の「考え」を明確にする必要があると考えられる。自分の考えを書く際には、以上のことが文章の中に位置付けるように指導し、論理性を意識させながらまとめられるようにしたい。3点目は、自分の考えを豊かに表現するための学習活動を行うことである。自分の考えを豊かに表現するためには、それに先立つ知識や経験が必要である。しかし、これまでの児童の生活を振り返ると、戦争に関する事実を学んだり、平和の尊さや価値などについて考えたりする機会は少なかったといえる。そこで、社会科や総合的な学習の時間等、他教科他領域の学習との関連を図りながら、戦争と平和に関する学習を積み重ねることによって、自分の考えをより深く表現できるようにさせたい。また、並行読書として戦争に関する本を読む機会を設定し、考えを広げるきっかけとなるようにしたい。

## (4) 本校の研究にかかわって

本校の研究目標は、「確かに読み取る力を育てるために、説明的文章における意図的な書く活動を位置づけた指導の在り方を実践的に明らかにする。」である。この目標の具現化のために、本単元の学習を通して以下の3点を意識的に行う。1点目は、1単位時間の中に位置づける2回の書く活動は同じ課題で行うこ

とである。1回目の書く活動は、自力で読み取ったり考えたりしたことを書く。2回目の書く活動は、1回目の書く活動で書いたものを全体の中で交流し、学んだり深まったりした考えを書く。そして、書いたことを授業者がその場で即時評価する。以上のように2回の書く活動を同じ課題で行うことによって児童は、単位時間の中で内容理解の深まりや読解技術の習得を実感することができるであろう。

2点目は、書く活動を行う際に複数の記述条件を設定し、それに合う形で書かせることである。全国学力・学習状況調査のB問題には、テキストを読み、分かったことや自分の考えを字数や使用語句など、複数の記述条件に合わせてまとめ書きする問題が出題されている。このような問題に対応し、自分の考えを的確に書く力を付けるためには、複数の記述条件に基づいて書くという活動を日常的に授業に取り入れていく必要がある。また、このような言語活動を行うことはテキストを多面的に読むことにつながり、内容面におけるより深い読み取りにつながると考える。

3点目は、単元の初めにリライト教材を用いた学習を位置付けることである。リライト教材を使って学習することによって、基本的な文章構成を確認したり、段落のキーワード（中心語）をとらえたりする力をつけることができる。そこで付けた力を第1教材「平和のとりでを築く」の学習に生かせるようにしたい。

#### 4 単元の目標と言語活動

##### (1) 単元の目標

- 「平和のとりでを築く」の内容に興味を持ちながら読み、平和についての自分の考えを進んで書き表そうとする。【関心・意欲・態度】
- 平和についての自分の考えを明確に表現するために、事実と意見を区別したり、構成や表現を工夫したりして書くことができる。【書くこと】
- 原爆ドームが世界遺産に登録されるまでの道のりと筆者の考えを、叙述に着目し、自分の考えをもちながら読むことができる。【読むこと】
- 「頭括型」「尾括型」「双括型」等の文章構成の種類を知り、適切なものを選んで活用することができる。【言語事項】

##### (2) 本単元で行う言語活動

- 自分の課題について調べ、意見を記述した文を書くこと。【書くこと】
- 自分の考えをもつために、意見を述べた文章を利用すること。【読むこと】

#### 5 単元の指導計画(全14時間)

次	時	学 習 活 動	関心 意欲 態度	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	説明文学習を通して 身に付けさせたい力 <sup>30</sup>
1	1	リライト教材を読み、文章構成とキーワードをとらえる。 ①リライト教材を音読する。 ②段落ごとのキーワードを抜き出す。 ③文章構成をとらえる。				◎	○	15 キーワード 25 文章構成
	2	第1教材を読み、学習感想を書く。 ①題名読みをする。 ②全文を音読する。 ③初発の感想を書く。	○			◎		1 題名読み 2 初発感想 3 音読 30 文章種類
	3	学習課題を作り、これからの学習の見通しをもつ。 ①「平和」についての自分の考えを意見文にまとめて学習発表会の場で発信するというめあてをもち、学習計画を立てる。 ②初発の感想をもとにしながら学習課題を作る。 ③新出漢字を知る。 ④難語句の意味を調べる。	○			◎		4 学習課題 23 形式段落



## 6 本時の指導

### (1) 目標

原爆ドームについての筆者の考えを受け止め、それに対する自分の考えをもつことができる。

### (2) 本時の評価

評価規準

筆者の考えを確かに読み取り、それについて自分はどのように考えるか、叙述と自分の知識・経験を関係付けながらまとめている。

Aの状況の具体的姿	Bの状況の具体的姿	Cの状況への手立て
筆者の考えについて、文中の内容と関連付け、事実を挙げながら自分の考えをまとめている。	筆者の考えについて、文中の内容と関連付けながら自分の考えをまとめている。	前時にまとめた要旨を見直し、筆者の考えを確認する。 文中の言葉を用いながら自分の考えをまとめさせる。

### (3) 展開

過程	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点(※)評価
導入 3分	<b>1 前時の学習を振り返る。</b> <b>2 学習課題を確認する。</b>		※ 掲示されている学習計画表を使いながら前時の学習内容の確認を児童が主体となっていく。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             筆者の考えについて自分はどのように考えるかまとめましょう。           </div>
	<b>3 本時の学習の見通しをもつ。</b>		※ 本時は筆者の考えについて自分が考えたことを書きまとめることができたら目標達成であることを共通理解する。
展開	<b>4 課題を解決するために読む。</b> (1) 学習段落を音読する。 ○ 筆者の考えが書いてあるのはどの段落ですか？ (2) 筆者の考えを確認する。 ○ 筆者がこの文章を通して一番伝えたかったことはどの文に表れていますか。 ○ 筆者は、「平和のとりでを築く」という言葉を使って、人々の心の中に何を築いてほしいと願っているのですか。	・ 形式段落⑫⑬  ・ 「原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。」 ・ 平和を守り続けようとする強い意志 ・ 戦争は二度と起こさないという決意 ・ 誰もが安心して生活できる世界を作り上げようとする気持ち。	※ 筆者はこの文章を通してどんなことを伝えたかったのか振り返りながら音読を聞かせる。  ※ ⑫⑬段落の全ての文には筆者の思いが込められていることを確認した上で問う。  ※ 前時までには解釈した「平和のとりでを築く」という言葉の意味を想起することによって、筆者の考えをより確かに理解させる。

<p>展 開</p> <p>22分</p>	<p>(3) 筆者の考えに対する自分の考えをまとめる。 ○ <b>筆者の考えについてあなたはどのように思いますか。自分の考えを条件に合わせて書きましよう。【書く活動①】</b></p> <p>(4) 書いたことを全体の場で交流する。 ○ 書いたことを発表しましょう。  ○ 誰の言葉がよかったですか。理由も発表してください。</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">         筆者は「原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。」と書いています。          私はそのことについて、次のように考えました。          原爆ドームは、戦争によって生み出されました。だから、戦争を起こそうとする人の心の中に平和を守っていかうという強い気持ちを作る必要があると思います。       </p>	<p>※書く時には、以下の条件に合わせて書くように指示する。</p> <p>① 1段落目は、自分の考えの根拠となる筆者の考えを書くこと。(全員書く。)</p> <p>② 2段落目には、筆者の考えと自分の考えをつなぐ文を書くこと。(全員書く。)</p> <p>③ 3段落目には、自分の考えを書くこと。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">         筆者の考えを根拠としながら自分の考えを条件に合わせてまとめることができたか。          (ノート、発表)       </p> <p>※誰のどの言葉がよかったですかメモをとりながら聞くように指示する。</p> <p>※交流していく中で、事実を挙げながら考えを書いているものが聞く人をより納得させる考えであることに気付かせる。</p> <p>※原爆ドームを通して「平和の尊さ」「戦争反対」「核兵器廃絶」等の戦争に関する自分の主張を書くようにさせたい。</p>
<p>終 末</p>	<p><b>5 学習のまとめをする。</b></p> <p>(1) 交流したことを生かしながら自分の考えをまとめる。 ○ <b>学んだことを生かしながら、筆者の考えについての自分の考えを書きましよう。【書く活動②】</b></p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">         筆者は「原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。」と書いています。          私はそのことについて次のように考えました。          私たちの暮らす日本は、1941年にアメリカを相手に太平洋戦争を起       </p>	<p>※記述条件は【書く活動①】と同様とする。</p> <p>※書く際には全体交流で学んだように、事実を挙げながら自分の考えを書くことをすすめる。</p> <p>※書き終わった児童の文は、教師がその場で<b>即時評価</b>する。評価の基準は①記述条件が満たされているか②本文の内容だけでなく、自分の考えが書いてあるか</p>

<p>終 末 20分</p>	<p>(2)まとめを発表する。 ○ノートに書いた自分の考えを発表しましょう。</p> <p>○友達の発表を聞いての感想を発表してください。</p> <p><b>6 次時の学習を確認する。</b></p>	<p>こしました。その結果、原爆ドームのよくな悲しい遺産を作ってしまった。私たちは二度と同じ過ちを繰り返してはなりません。そして、平和な世界を作り上げるといふ強い気持ちを私も含めた世界中の人々が持ち続けたいと思います。</p>	<p>③事実を挙げながら自分の考えを書いているか、で判断する。</p> <p>全体交流で学んだことを生かしながら、自分の考えを条件に合わせてまとめることができたか。(ノート、発表)</p> <p>※自分の知識を生かし、事実を挙げながら、記述条件に合わせて考えを書いている児童を発表させる。聞いている児童は、感想を考えながら聞くように指示する。</p> <p>※発表した児童の考えのよさを通して、最終的に筆者の考えの素晴らしさを感じ取りたい。</p>
------------------------	---	---	--

(4) 板書計画

自分の考え

↑

考えの書き方

↑

事実を挙げて

筆者の考え

筆者の考えを受け止め、自分の考えを発信しよう

平和のとりでを築く

大牟田 稔

筆者の考えについて自分はどうのように考えるかまとめましょう。

筆者の考え

原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。

自分の考え

① 筆者は「原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。」と書いています。

② 私はそのことについて次のように考えました。

③

- ・ 一九四一年太平洋戦争開戦
- ・ アメリカ・イギリスを相手に
- ・ 一九四五年八月六日広島に原爆投下
- ・ 広島では二十万人以上が死亡
- ・ 尊い命 ・ 強い意志
- ・ 戦争反対 ・ 核兵器を無くす
- ・ 世界の人々が協力を
- ・ 気持ちを一つに